



岩石採取場立入検査実施

七月二十二日県北広域振興局と二戸市による立入検査が実施されました。

当日は、あいにくの雨となりましたが、二戸地区の全五工場を回りました。各社共ちよつとした工夫と努力の跡があり、改善の意識が感じられました。具体的には、裸足で入っても大丈夫と思われるほどの清掃されたトイレ、事務所前に手作りの地藏さんを置き和やかな雰囲気づくりをしている等、ちよつとした心がけで変わるものだと感じさせられました。

ちなみに当社は指摘事項なしという結果でしたが、県内の採石場では、七月に死亡労働災害が発生しており、改めて無災害を願うものです。



景気回復

先日、盛岡八幡宮の参道で写真のような看板を見つけた。なるほど巫女も募集するのだと感心しつつ、バチ当たりにもホステス募集のピラを連想し笑ってしまった。巫女も職業なのだと思う、採用条件は？年齢制限は？ハローワークに求人票出しているのだろうかとか、看板の前で色々なことを考えてしまった。中年男性が巫女募集の看板をじっと見つめている姿は異様でおぞましい。



景気が良くなると、どんな業種でも仕事が増えて求人数も上がる。これもアベノミクスのごりやくなのだろうか・・・。それとも神様のおぼしめしなのだろうか。

恋しい太陽



7月は、不順な天候が続いた。暑い夏かもしれないと心の準備はしていたが、土曜の丑の日も大暑も真夏にはほど遠い天候で、社員の中ではヒーターをかけたという人もいたほどである。

うなぎを食べても、ビールを飲んでも短い夏で終わるのか、残暑が秋を押しつけるのか、いずれにしてもカンカン照りのお日様を見たいと願う日が続く。とはいえ暑中につき皆様方ご自愛ください。

みんなでゴルフ



稲庭岳の麓に稲庭高原パークゴルフ場がオープンした。ゴルフは上流社会の高級なスポーツというイメージだが、パークゴルフ、グランドゴルフ、ゲートボールなどは身近でお手軽な感じがする。これらのスポーツの考案、発祥は日本なのだそう。

ゲートボールは戦後間もなく北海道において考案され、世界選手権まで開催されており、岩手グリーンピア友の会が3連覇しているのだ。すごい！

今回のオープンの影で、種子を蒔いては豪雨で流され、足掛け2年にわたり根気強く竣工まで頑張った現場代理人の顔が思い浮かぶ。皆に愛され利用される施設となることを願う次第である。



～他山の砂～

昨年来気になっていたことがある。大館の生コン屋さんで使用している砕砂である。一度触らせてもらったら、当社の製品に比べ「ざらざら感」や「じやりじやり感」がない。なぜだろう。石を砕くと角が立つ、角が立った砂を握ると「きりきり感」がある。ツポの刺激にはよい。しかし、生コンはいろいろな形に流し込みたいので、適度に流動しないと具合が悪い。「ざらざら感」や「じやりじやり感」「ざくざく感」は流動性に対しては、負の因子なのだ。骨材として使用する砂の良し悪しは、定量的にJISで定められている。しかし、手触りや風あい、色などについては決まりがない。

「しっとり度」「すべすべ度」

「まるまる度」、総称しているなら「平滑度」とでも言うべき事柄について工夫する余地がある。他山の砂は絶好の学習教材である。



夏季休暇のお知らせ

誠に勝手ながら

8月13日(火) ～ 8月18日(日)まで

夏季休暇とさせていただきます。

編集後記

夏が来ない・・・でも、ビールは美味しい！最近、プリン体が0(ゼロ)というビールが出たのをご存知ですか？私は痛風ではないけれど、ビールが飲みたいのに飲めない！という人の希望をよくぞ叶えたものだと感じました。

